

今月1日から元号が変わりましたね。令和。アクセントを置くのは「れ」でも「わ」でも、どちらでもいいそうです。約30年間「平成」でやって来たので、頭では令和だと思っけていても、手は勝手に平成と書いてしまう。そんな人、案外多いんじゃないですか？

完成した長い文書の最後に日付を書く時、「平」と書きかけてしまって、もう1度やり直すのは面倒臭い。そういう時、間違った痕跡を残さず・書き直さず・美しく書くプロがいます。美しい日本語を書くプロは書道家。「平」を草書体風書くと「令」になる。これは正しい書き順で書くよりも、くせ字の人ほど美しくなるそうです。間違ったという痕跡を一つも残さないばかりか、まともに書くより上手になる。やはりプロに任せるってスゴイですよ。

昔、世阿弥（ぜあみ/1363?-1443?）が『風姿花伝』（ふうしかでん）という踊りの奥義の書を残しました。「名人とは舞を間違わない人ではない。人間だから本番で間違った舞をしてしまう事もある。名人とは舞を間違った時、間違いを用いて、よりコクのある、完成度の高い、粋な舞に舞い上げてしまう人の事だ。」

聖書の神は摂理の神で、人間がやらかした色んな失敗・しくじり・罪・悪ですらも、それを良い事のために用いて、引っ張り上げて、素晴らしいものに使う事ができる方です。

自分の人生を振り返ると、その連続です。私、二浪しました。私ゴウイチロウ。だけどニロウ。なぜ浪人したか？1つは私のせい。一浪の時は受験当日寝坊した。新聞配達してから予備校に行っていたのですが、本番の時、店長が「今日ぐらい休めよ。十分睡眠取って本番に臨んだらいい」と言ってくれて。人間の習慣で、3時半になったら起きる。それで、二度寝した…。二度寝すると起きれないよ。カーッ寝てました。そしたら、アパートのドアをバンバン叩いている。誰やと思ったら、遠くに住んでいる母が立っていて「やっぱり、かましたか…。母親の勘、すごいよ。ドンピシャ。それ、神様が教えたんですけど「ウチの子、絶対やらかしてる」と思って、不安になって来た。

このように、1番の時にやらかすというのは、2人の息子に見事に受け継がれていて（本人いてる？いてない方のヤツ言おう）、なんぼでもありますよ。受験の事。まず特待生で行けるだろうと申し込んで、受験料払ってなかった。どうするの、これ。こんなん、序の口ですよ。

その時は「なんで寝坊したんやろ…。でも、今は良かったなと思っています。というのは、大学に入って親友と出会いました。那須さん。大学のクラスメート。彼が現役で合格したのは、私と会うためだと思います。自分の実力じゃない。そうでも言わないと、やってられませんよ。

それと、受験失敗した多くの若者たちに対して、私には分かち合える物語がある。「一浪なんて関係あるか！俺を見ろ！」とか言って。まさか、それを息子に言って聞かす事になるとは思いませんでしたけど。息子も浪人して入って、親友と出会う、その家に今居候しているという不思議な事があるんですけど。

神様は人間がしでかした悪を、そのまま放たらしにするのではなく、素晴らしい事のためにそれをも用いる事がお出来になる。その最大のものがキリストの十字架です。神が人となり、救い主となってこの世界に来たのに、人は彼を拒絶し、丸裸にして十字架で処刑しました。

この罪のないイエス・キリストの十字架処刑こそが、私たちの罪の償いのために神が用いた働きだったのです。そういう神が自分の神だと思い返した時、勇気が出てきます。

この地上にいる限り、24時間・ほんの一瞬の途切れもなく、常に重力が働いています。それと同じように私の人生には、ほんの一瞬の途切れもなく、神の摂理・神の恵みが働いている。

たとえ私が間違いを犯したとしても、神はその間違いをも用いて、良い事のために使う事ができる。その神様の恵みの力が途切れる事なく、ずっと人生を取り巻いていると思うなら、失敗をそんなにくよくよする必要はないです。この中で、「あんな失敗したからあかんわ」と言う方、答えは先にあります。過去にはない。いつも神が働いて下さる。その働きの結末は、未来に於いて見えるので諦めないで下さい。

今日は、「私なんか何の意味もないわ」と思っていた女性に、イエス・キリストが会って下さったという話の中から、イエス・キリストはどんな方かをご紹介します。

「人となられた神」と何度も言いました。でも福音書の中から、イエス様ご自身の人格に触れる事が一番早いとも思ったので、聖書を1箇所見ていきます。

マルコ 5:21-34 イエスが再び舟で向こう岸に渡られると、大勢の群衆がみもとに集まって来た。イエスは湖のほとりにおられた。すると、会堂司の一人でヤイロという人が来て、イエスを見るとその足もとにひれ伏して、こう懇願した。「私の小さい娘が死にかけています。娘が救われて生きられるように、どうかおいでになって、娘の上に手を置いてやってください。」そこで、イエスはヤイロと一緒に行かれた。すると大勢の群衆がイエスについて来て、イエスに押し迫った。

そこに、十二年の間、長血をわずらっている女の人がいた。彼女は多くの医者からひどい目にあわされて、持っている物をすべて使い果たしたが、何のかいもなく、むしろもっと悪くなっていた。彼女はイエスのことを聞き、群衆とともにやって来て、うしろからイエスの衣に触れた。あの方の衣にでも触れれば、私は救われる」と思っていたからである。すると、すぐに血の源が乾いて、病気が癒されたことをからだに感じた。

イエスも、自分のうちから力が出て行ったことにすぐ気がつき、群衆の中で振り向いて言われた。「だれがわたしの衣にさわったのですか。」すると弟子たちはイエスに言った。「ご覧のとおり、群衆があなたに押し迫っています。それでも『だれがわたしにさわったのか』とおっしゃるのですか。」しかし、イエスは周囲を見回して、だれがさわったのかを知ろうとされた。

彼女は自分の身に起こったことを知り、恐れおののきながら進み出て、イエスの前にひれ伏し、真実をすべて話した。イエスは彼女に言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。苦しむことなく、健やかでいなさい。」

イエス・キリストが難病を奇跡で癒されたという話です。ここから、イエスとはいかなる方かを考えてみたいと思います。

① イエスは人となられた創造主なる神；創造主とは、この世界をお造りになった第1原因者。私は2月にポーランドからドイツ経由でイスラエルに行きました。今世界中の国際空港の男子トイレの便器には、全て一つの共通点があります。それは、便器の中にハエの絵が描いてある。女性は見た事がないでしょ。だからちょっと説明すると、小便器の中にハエの絵が付いているんです。男はそういうのを見たら、そこを狙って用を足すという本能がある。これはシールというか、絵だから逃げませんよ。こぼさないようにするために、その角度で狙ってやると便器からこぼしません。時々「一步前進」とか書いてますが、そんな事ぐらいで前進しません。「この！ このっ！」と言いながらやる方がいい。ハエの位置は計算され尽くして、かなり高めです。

便器の設置位置がそもそも高いフランクフルトでは「いいかげんにせい!」という感じ。

役に立つデザインというのは、考え抜かれているデザインで、それには考え抜いたデザイナーがいる。この自然界にあるものは、実に考え抜かれていると思いませんか?

この間 BBC が「シマウマには、なぜ柄が付いているのか」という番組をやっていました。

「シマが付いてなかったら、普通の馬やないか。」そういう事もあるけど、なぜ縞があるのかを、普通の馬を使って実験して、すごい事が分かったんです。普通の馬に縞柄のコートを着せたら、ハエが一切たからない。ハエは複眼でものすごい飛行をしているのに、縞の上で飛んだら目が回って着地できない。体に止まったハエがポロポロ落ちる。究極の虫よけスプレーみたいなシマウマの縞。人間の指紋が一人ひとり違うように、シマウマの縞もそれぞれ違うそうです。スゴイと思いませんか? だから何なのという感じですか?

意味のあるデザインには、それを考え抜いたデザイナーがいる。それなら、自然界のデザインには全部意味があるわけだから、それをお造りになった賢い知恵者・第1設計者・全宇宙をお造りになった第1原因者がいるという考えは、何も変な事ではないと思います。

神とはいかなる方ですか? あなたの造り主です。その造り主が、人としてこの世界に来て下さった。そして、病気を治していかれた。それは、自分の力をひけらかすためではありません。神なら自分の作品が傷ついた時、治す事ができるから。パソコンや車が壊れたら、メーカーに持って行けば修理してくれるでしょ。人間が壊れたら、どこに持って行ったらいいですか? 人の作者の所に持って行けばいいんです。イエス・キリストは、誰も治す事ができない病気を治していく事によって、「わたしは人となった神なのだ」という事を証しておられるのです。

マルコ 5:21 イエスが再び舟で向こう岸に渡られると、大勢の群衆がみもとに集まって来た。

大勢の群衆が殺到したのは、イエスは前日にガリラヤ湖の向こう側に行っていて、この地方を留守にされたから。たった1日、イエスのいない1日、困り抜いて嘆く人たちがたくさんいました。イエスがいないと困った人たちは病人・難病の方。誰にも治す事ができない。しかし、イエスにはその力があるのです。

『医学の世界歴史』という面白い本を読んでいたのですが、今の時代に生きてて良かった。昔の治療の方法はエグイ。ナポレオン (1769-1821)。エドガー・アラン・ポー (1809-1849)。リンカーン (1809-1865)。この3人の共通点は、日常の常備薬が同じである事。彼らは水銀を常習的に飲んでいたので。だから皆短命。リンカーンは暗殺ですが。

水銀を飲んだらどうなるか? 量にもよりますが、唾液が2ℓくらい出る。水銀中毒症状。同時に、腸内にあるものが全部下痢。昔の人は「体の中の悪い物が全部出た。健康!」という事で、気分が落ち込んだ時・インフルエンザ・性病・片頭痛・腹痛・万病に効くという水銀。有機水銀を体に取り入れてどうなりましたか? 水俣病ですよ。それが、薬として400年間あったんです。

19世紀まで、夜泣きの薬としてアヘンとモルヒネの調合と書いてあります。これで赤ちゃんはすぐに泣きやむ。そりゃあ、泣きやむでしょ。そのまま戻って来ないんだから。死んじゃって。

20世紀に入ってもメチャクチャな治療、いくらでもありました。

ロボットミ、分かりますか？ 右脳と左脳の間に脳梁（のうりょう）という橋がかかっているのを切ってしまう。「幻聴が止まらない」と言う人の頭蓋骨を外して脳梁を切るか、スプーンで何杯分もの大脳皮質を削り取るという記述がありました。一部はそれで幻聴が止まりますが、殆どの方は亡くなるか、後遺症に悩みます。

「どこに行っても治らない。でも治したい」と思った時に人間が取る手段はムチャクチャです。しかし、イエスの癒しには、そういう苦痛は一切なし。イエスの元に来た人は皆癒される。それによって、「わたし（イエス）は人の作者である。人を造った神が人としてこの世界に来たのだ」という事を証しされているのです。

② キリストは人格によって心癒す方；癒してほしいと願っている1人の女性がいました。

マルコ 5:25 **そこに、十二年の間、長血をわずらっている女の人がいた。**

単にボディだけ治すのではなく、キリストとの交わりによって人格を本当に癒す。そして「聞きたい・知りたい・分かりたい」と思っている究極の答えは、全部救い主の中にある」という事を、言葉で伝えていくのです。

私は重松清（しげまつ きよし/1963-）さんという作家が好きです。直木賞作家でたくさん賞を貰っている。この人のいいところは全部短編。根気のない人でも、すぐ読み終わります。でも、どれもいい。

1つ気になるのは、吃音症（きつおんしょう）の人が主人公の小説が多い事。吃音とは、差別用語になるのですが「どもり」。言葉が滑らかに出てこない。

私にはその気持ちが分かりません。出過ぎて止まらへん時があるから。

この症状は本当に難しくて、独り言を言っている時は全然話らない。大勢の前や他人の前に立った時だけ出る。だから、色んな深い理由があるんだと思います。

重松さんの話の中に吃音症の人が多く理由を、テレビのインタビューで聞きました。彼自身が吃音症で、ずいぶん苦しんだ少年時代だったんです。お父さんは転勤族で、小学校の時何回も転校しました。転校はそれまでの人間関係が全部無くなって、一から新しく作って行かなければなりません。一番初めにする事は皆の前での自己紹介。皆が自分を見ている最悪のコンディション。

“か行”と“た行”が出ない。「しげまつ きよし」の「き」は“か行”です。「しげまつきよし」と一気に言えたらいいのですが、「つ」と「き」の間に一拍息継ぎしたら“か行”が出て来ない。だから、一気に、と思えば思うほど止まる。「しげまつきききき…」。皆、何が起こったのかと見る。

転校先にタナカとマツザキという、どうしようもないヤンチャのクラスメートがいて、からかって「ちゃんと言われへんのか!」。いじめが始まる。重松君は興奮すればするほど、舌がもつれて喋れないようになるので、わざと怒るような事ばかりする。学校に行くのが嫌で嫌でたまらない。そういう少年時代をずっと過ごしていました。彼は今話せます。滑らかに。その理由は本を読んで下さい。

吃音症で悩んでいる子のお母さんからの手紙に、「息子を励ましてやって下さい。インタビューを見て、あなたにその症状があったというのが、すぐ分かりました。」それを読んで非常に傷つきました。

「自分では上手くいっていると思っているのに、聞く人が聞いたらそうなのか。」

ところで彼は、自分の少年時代の事を『きよしこ』という短編小説に書いています。吃音でいじめられた辛いエピソードが生々しく書いてあるのですが、「きよしこ」というのは何なのか？

「悩みを何でも聞いて相談に乗り、共感してくれる心の友のような人が、やがてこの世界にやって来る。その人は、夜に私の家に来る。その名前は『きよしこ』。「自分は清（きよし）、途中まで同じ名前や。」どこで聞いたのか分からないけど、どこかの教会で、クリスマスの降誕劇を見てるんですね。その時「きよしこの夜」の歌詞カードが「きよしこのよる」。全部ひらがな。「きよし この夜」は聖なる夜なんです、彼は分からへんから「きよしこ の夜」。「『きよしこ』という救い主が現れて、悩みを全部受け止めて聞いてくれる」という作品『きよしこ』。これが賞を取りました。

言いたい事が無いんじゃない。言いたい事があって、言いたいのに、言葉が出て来ない。この症状が、内なる世界と外なる世界の壁となった。言いたい事があるのに言えないと、自己主張できない奴というので周りの人がなめる。「こいつは何も考えていない」と、嵩（かさ）にかかっていじめたり、踏みつけたりする。辛かった…。

言葉を操る事ができない彼が、なぜ文章で言葉を操る小説家・作家になったのか？彼の『青い鳥』という作品、映画にもなりました。自殺未遂をした男の子がいる高校に、国語の男性教師が臨時採用されます。この先生が吃音で、生徒たちから思い切りバカにされるのです。結論は、吃音者であるからこそ、本気の言葉が伝わった時、一言葉（ひとことば）がものすごく重い。何も考えなくてもペラペラ出て来るとい話じゃない。言いたい事があるけど言葉が出て来ない。だから、心の中に沈殿する。それがどんどん発酵し、一言葉で言えるように結晶化された、無駄のない寸鉄のような突き刺さる言葉。それが苦勞しながらボンと出て来た時、ずしんと突き刺さって来る。

彼はこの本の中で、「病気は私の人間形成を決定づける一つの要素だった」と言っています。ハンディや生い立ちや病気は、その人の幼少期の人格形成に非常に大きな、その病気がなかったら今の自分はない・その病気を否定したら自分じゃなくなるくらいのところで。

12年長血を患っている女性は、イエス・キリストから「娘よ」と言われているので若い女性です。長血は出血を伴う婦人病なので、思春期から始まって12年間。どこに行っても治してもらえず、治療を試してもますますひどくなり、とうとう財産を全部使い果たしてスッカラン、途方に暮れている。

しかもユダヤ社会では、長血という病気は「汚れ（けがれ）をうつす」と考えられていました。だから、この病気の人は公の場に出る事ができません。彼女と接触したら、その人は汚れた者になるから。

彼女はユダヤ人だけど神殿に入れず、大勢が楽し気に集まっているミーティングや集まりやお祭りに出られない。それが許されない。行きたかったと思いますよ。一番感受性の強い多感な12年間、彼女はこの病気によって、どんな人格になったかなあ。その経緯は、彼女の人間観・世界観・人生観に大きな影響を与えたのではないかと私はそう思っています。

彼女はイエスの所に行って衣の房を触ります。衣の房はヘブライ語で「ツィツィオット」。ユダヤ人の男性は衣の四隅に房を付けます。613の結び目があって、これは神の言葉を連想させるのですが、その人の権威を表すものでもありました。ダビデが上司のサウルの衣の房を切った事で、とても心が責められるというシーンがありますね。

「イエス・キリストの権威が私を癒す事ができる」と思って触った時、「治った!」とすぐに分かった。すぐに分かったので、そそそと姿を消そうとしたら、

マルコ 5:30-32 イエスも、自分のうちから力が出て行ったことにすぐ気がつき、群衆の中で振り向いて言われた。「だれがわたしの衣にさわったのですか。」すると弟子たちはイエスに言った。「ご覧のとおり、群衆があなたに押し迫っています。それでも『だれがわたしにさわったのか』とおっしゃるのですか。」しかし、イエスは周囲を見回して、だれがさわったのかを知ろうとされた。

本人が名乗り出るのを待ったんですね。僕はこのシーンが大好きです。なぜ、待ったんでしょう？ 100%の祝福を与えたいと思っておられるから。彼女が思っているのは肉体上の病が癒されるだけの事です。「病気が治った。」でも、自分がイエスに知られているなんて思ってもいない。匿名のまま姿を消して、貰うもの貰ったからそのまま去ろうとしている。キリストは「その人と話したい、今までどんなに辛いところを通過して来たのか分かち合いたい」と思った。

何よりも、このまま去ったら、キリストの力を黙って盗み取ったような罪責感をずっと持ったと思いますよ。「盗んだんじゃないよ。わたしはあなたが健やかである事を願っているよ。」
“病気は治ったけど、イエスとの面識がないまま”ではなく、罪責感を拭いながら、彼女のためにたっぷり時間を取る神がいるという事を、どうしても分かってもらいたいのではないかと思うのです。

人の話を聞くのは難しいですね。皆さん、今聞いているんですけど、お疲れのところ大変やと思いますよ。話を一対一で聞くのは難しい。特に用事が待っている時。悟られないように時計を見る。でも、そういう人は「時計見たな」ってすぐ分かる。

ミハエル・エンデ（1929-1995）の『モモ』。彼の奥さんは日本人ですね。人の話を聞くのは難しい。でも、あまり頭が良くない人でも、モモにじっくり聴いてもらおうと、急にすごい考えがふっと浮かんで来て、次に何をしたら良いのかが分かるようになるのです。気弱になって、どうしたらいいか分からないと思っている人は、モモと話す急に方針が立ち、心の底からやりたい事はこれだったと気がつくのです。

モモは質問するのではなく、真っ黒の目で相手をただじっと見て、うなづきながらよく聴きます。聞いてもらっている内に、間違った考えの人はその事に、独りで気づくようになるのです。
「俺の人生は失敗で何の意味もない。俺が死んでも壊れた壺みたいなもの。新しい壺が俺のポジションを占めるに過ぎない。俺には価値はない。生きてても死んでも一緒だ」と言う人がいるとします。ところがモモと話すと「俺の考えは間違っていた。世界に俺は1人しかいない。与えられた人生を尊いものとして生きる義務がある」と独りで変わるのです。

そういう方を持っていますか？ 僕には何人かいます。その人に話しを聞いてもらおうと、何か落ち着いて、「それを言いたかった。それを言いたかったんや。肩痛かったんや。」
臨床心理士ってそうですよね。ピンキリですけど。ユング派はそういう風にするみたい。

マルコ 5:33 彼女は自分の身に起こったことを知り、恐れおののきながら進み出て、イエスの前にひれ伏し、真実をすべて話した。

12年間の真実を全て話す長いでしょう。彼女は今まで余り人と話をしていません。人と話をしない無口な人と思われている人ほど、善意の聞き手を得た時には長い。止まりません。別に誰かの事を言っているわけではありません。でも、そうですよ。受け止めてもらう事によって、自分の中でもつれていたものが解けて行く。イエス・キリストは、彼女が今まで病気の中で受けて来た様々な歪んだ人間観を含めて、「全部無駄じゃない。全てが肥やしになるから。」

マルコ 5:34 イエスは彼女に言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。苦しむことなく、健やかでいなさい。」

キリストは、ただ救いを提供しておしまいというのではありません。人間が造られた目的は、神と共に歩むという事です。この地上で生きていたら、安心できない事が次から次に起こる。それが分かっているのに、なぜ「安心して行きなさい」と言えたのか? 「これからはわたしが共に歩んであげるから、わたしと共に安心して行きなさい」の意味だと思います。

③ 神は信仰を喜ぶ方；今日1番言いたいのはこれです。

マルコ 5:31 すると弟子たちはイエスに言った。「ご覧のとおり、群衆があなたに押し迫っています。それでも『だれがわたしにさわったのか』とおっしゃるのですか。」

物理的にイエスに触れている人たちはたくさんいましたが、イエスの心の琴線に触れたのは、信仰により彼をメシア（救い主）としてタッチした人だけ。「この方が私の罪の問題を・私の死の問題を・私の患いの問題を解決して下さる救い主」としてタッチしたという事が大きいのです。神が私たちに求めているのは信頼するという事です。

この間、小谷真理（こたに まこと/1983-）さんの自伝を読みました。吉本の芸人ですが全然売れなくて、相方からコンビ解消され、やっていけなくなります。もう1度だけチャンスを活かしたいと大阪を後にし、ピン芸人として上京しました。東京には吉本の若手で、すごい成功している人がいる。「キングコング西」分かります？ 近大（近畿大学）の今年の卒業式で講演した人。あれはツッコミどころ満載でしたね。

小谷さんは彼に「東京で成功したいから、チャンスくれ!」「分かった。俺の家の部屋を貸してやる。東京の一等地だけど、家賃はひと月4万でいい。」彼、2か月滞納。お金あったのにお酒を飲んでしまった。その時、西が怒って「甘ったれるな! 出て行け!」。その日からホームレスになって「どうやって生きていったらいいか分からへん。」西が「何か売って生きろ。」「何を?」「自分を売れ。」

それで「1日50円で、何でもします」という便利屋を始めます。1日50円ですよ。タダでホームページを立ち上げてくれるサイトがあって、「株式会社 住所不定」という会社を作りました。そしたら全国から、草むしり・引っ越し手伝い・ヌードモデル・ペンキ塗り・チケットの順番並び・話し相手…。とにかく50円だから飛ぶように売れるのですが、毎日働いてもマックス1500円。ひと月1500円で食べて行けるか。

でも、やっていると不思議な事が起こりました。自分の取り柄は一生懸命しかないという事で、広い庭を朝からずっと50円で草むしりをやっている。さすがにちょっと悪いと思うじゃないですか。お昼になると「昼、食っていけよ。」で、ごはん食べて、また草むしり。夜になって「晩も食べていけよ。」昼と夜2回、一緒に食事をすると仲良くなるそうです。食べ終わったら「もう暗いから飲みに行こうや。」行って、帰って来たら遅い。終電ない。「泊まっていけよ。」彼、ホームレスですよ。泊めてくれた。翌日ツイッターで「腹減った。」すると、すぐコメントが来て「食事連れて行くで。来いや。」「泊まる所なかったら泊まれよ。」誰がコメントするかというと、50円で散々彼を使った人たち。

小谷さんは「株式会社 住所不定」を始めて、体重が10kg増えました。今25kg増えて「ズボン入れへん」とコメントしたら「新しいの、買ったる。」そして、依頼主の女性と交際して結婚。事の顛末を本にしたらベストセラーになって印税がたっぷり。やったろかと思ってる?

